

科目名称：	会計実務演習Ⅱ	
担当者名：	藤元 宏一、眞田 浩一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
会計実務演習Ⅰの内容に追加して、日本商工会議所の簿記検定試験3級受験のための内容を学んでいく。2月の検定試験で多数の学生が3級に合格できるよう、後半は過去問題対策にも取り組んでいく。		
授業の達成目標・到達目標		
日本商工会議所の簿記検定試験3級合格を授業の達成目標とする。また、11月に合格した学生は、その後2級の内容を学習していく。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)	90			10	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 眞田 浩一：税理士	《経験年数2》 21年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
勘定科目（日商簿記3級試験範囲）	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を完全に答えられる。	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を90%正確に答えられる。	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を80%正確に答えられる。	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を80%未満しか正確に答えられない。
仕訳（日商簿記3級試験範囲）	仕訳を、応用まで全て正確に解答できる。	仕訳を、応用までほぼ正確に解答できる。	仕訳を、基本はほぼ正確に解答できる。	仕訳を、基本もほとんど正確に解答できない。
財務諸表（貸借対照表、損益計算書 日商簿記3級試験範囲）	財務諸表問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる。	財務諸表問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる。	財務諸表問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる。	財務諸表問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 授業の進め方、成績評価について、仕訳の再確認1	全経簿記3級試験の過去問題を簡単に復習しておく	20分
第2回 仕訳の再確認2	テキストで前回行った「仕訳の再確認1」の復習しておく	20分
第3回 仕訳の再確認3	テキストで前回行った「仕訳の再確認2」の復習	20分
第4回 仕訳の再確認4	テキストで前回行った「仕訳の再確認3」の復習をしておく	20分
第5回 仕訳の再確認5	テキストで前回行った「仕訳の再確認4」の復習をしておく	20分
第6回 仕訳の再確認6	テキストで前回行った「仕訳の再確認5」の復習をしておく	20分
第7回 仕訳の再確認7	テキストで前回行った「仕訳の再確認6」の復習をしておく	20分
第8回 第10章精算表と帳簿の締切り1	テキストで前回行った「仕訳の再確認7」の復習をしておく	30分
第9回 第10章精算表と帳簿の締切り2	テキストで「第10章精算表と帳簿の締切り1」の復習をしておく	30分
第10回 第10章精算表と帳簿の締切り3	テキストで「第10章精算表と帳簿の締切り2」の復習をしておく	30分
第11回 第10章精算表と帳簿の締切り4	テキストで「第10章精算表と帳簿の締切り3」の復習をしておく	30分
第12回 第10章精算表と帳簿の締切り5	テキストで「第10章精算表と帳簿の締切り4」の復習をしておく	30分
第13回 第11章伝票1	テキストで「第10章精算表と帳簿の締切り5」の復習	30分
第14回 第11章伝票2	テキストで「第11章伝票1」の復習をしておく	30分
第15回 日商簿記検定試験3級過去問題演習1（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで「第11章伝票2」の復習をしておく	30分
第16回 日商簿記検定試験3級過去問題演習2（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習1」の復習をしておく	30分
第17回 日商簿記検定試験3級過去問題演習3（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習2」の復習をしておく	30分
第18回 日商簿記検定試験3級過去問題演習4（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習3」の復習をしておく	30分
第19回 日商簿記検定試験3級過去問題演習5（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習4」の復習をしておく	30分
第20回 日商簿記検定試験3級過去問題演習6（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習5」の復習をしておく	30分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 日商簿記検定試験3級過去問題演習7（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習6」の復習をしておく	30分
第22回 日商簿記検定試験3級過去問題演習8（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習7」の復習をしておく	30分
第23回 日商簿記検定試験3級過去問題演習9（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習8」の復習をしておく	30分
第24回 日商簿記検定試験3級過去問題演習10（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習9」の復習をしておく	30分
第25回 日商簿記検定試験3級過去問題演習11（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習10」の復習をしておく	30分
第26回 日商簿記検定試験3級過去問題演習12（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習11」の復習をしておく	30分
第27回 日商簿記検定試験3級過去問題演習13（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習12」の復習をしておく	30分
第28回 日商簿記検定試験3級過去問題演習14（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習13」の復習をしておく	30分
第29回 日商簿記検定試験3級過去問題演習15（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習14」の復習をしておく	30分
第30回 日商簿記検定試験3級過去問題演習16（授業内でディスカッションをしながら演習を進める）	テキストで前回行った「日商簿記検定試験3級過去問題演習15」の復習をしておく	30分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、90%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業への貢献・積極的関与は10%で評価する。</p>		
課題に対するフィードバック		
定期試験は、希望者には事務局を通して返却する。		
教科書・参考書		
<p>「大原で受かる日商簿記3級、資格の大原、(株)中央経済グループパブリッシング」を利用して説明を行う。「2022年A秋冬対策 合格するための本試験問題集 日商簿記3級、TAC株式会社、簿記検定講座」を利用して、問題演習を行う。</p>		
備考		